

FirePower & FireSight OS re-image on Series2

2015/01/26

Rev1.1

目次

1. 事前準備

- 1-1 準備するもの
- 1-2 環境の説明
- 1-3 Windows セットアップ(IP アドレス/ FTP サーバー)
- 1-4 ケーブル結線

2. FirePower インストール

- 2-1 USB での起動
- 2-2 初期画面での操作
- 2-3 IP アドレスの設定
- 2-4 プロトコルの設定
- 2-5 イメージダウンロード
- 2-6 インストール

3. FireSight インストール

1. 事前準備

1-1 準備するもの

- ・ FirePower(3D device)本体

※series2 のものである事を確認してください。

- ・ Windows PC(FTP サーバとして使用)

※3CDaemon を使用して説明します。

※3CDaemon はインストール済みであるとします。

- ・ LAN ケーブル
- ・ USB メモリー(series2 に付属している re-image 用 USB)
- ・ Re-image 用の ISO イメージ(Windows のデスクトップに download しておく)
- ・ D-sub インタフェースがついているモニター
- ・ USB キーボード

1-2 環境の説明

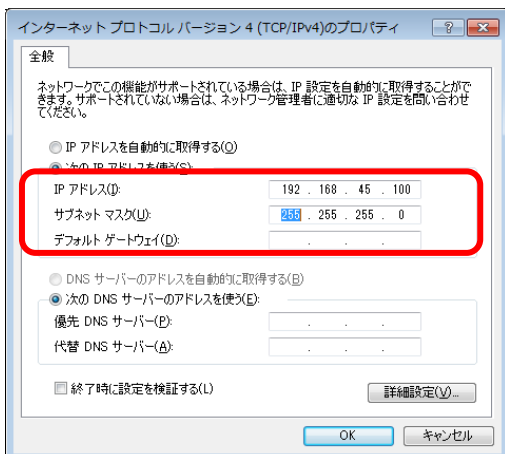
FirePower(3D device)の OS リストアについては FTP/HTTP サーバを介してイメージのダウンロード・マウントを行います。事前準備が終了しますと、以下のような構成となります。

IPaddress は、ここでは Windows を 192.168.45.100 として、FirePower(3D device) は 192.168.45.45 とします。



1-3 Windows セットアップ(IP アドレス / FTP サーバー)

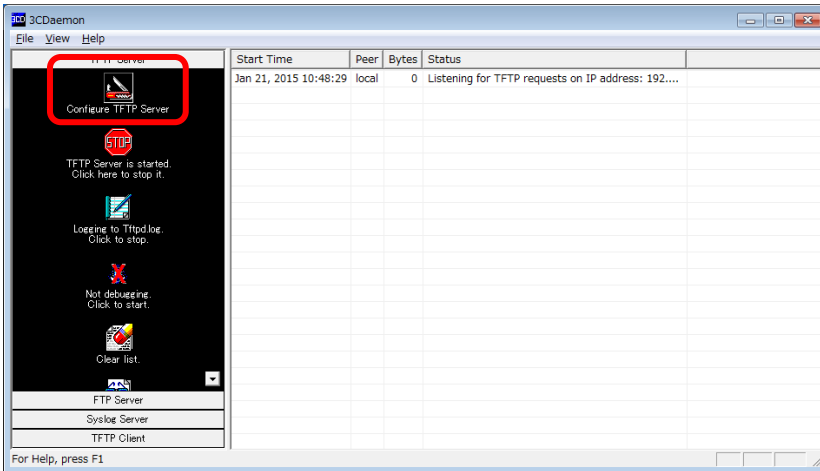
1-3-1 windows の IP アドレス設定(IP アドレスを 192.168.45.100 に設定)



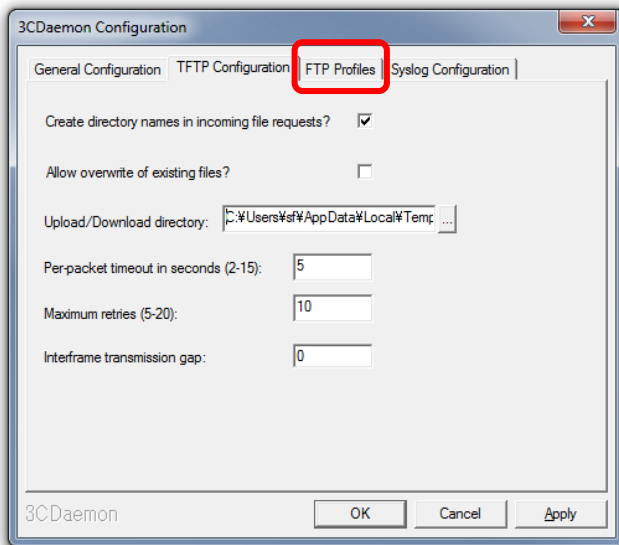
1-3-2 FTP サーバの設定

3CDaemon を起動します。

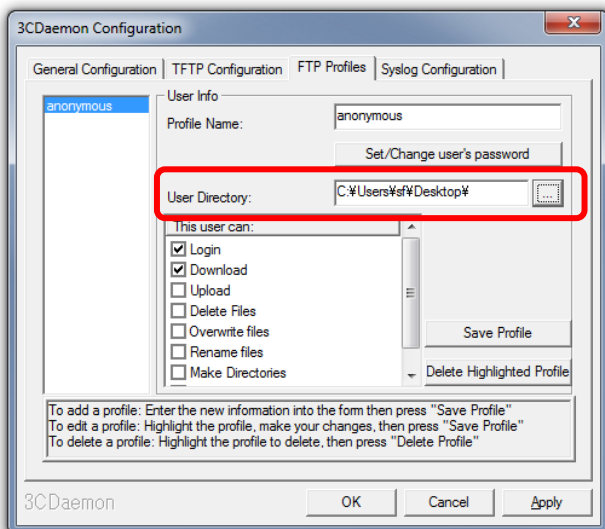
設定をする為、”Configure TFTP Server” をクリックします。



FTP の設定なので、”FTP Profiles” タブをクリックする

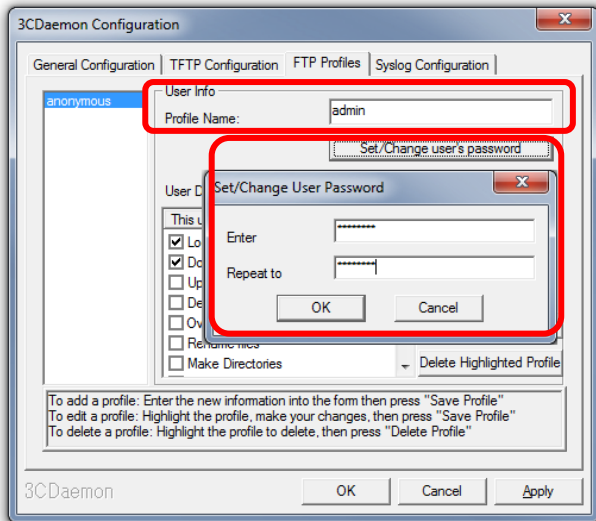


User Directory: にて、イメージの置いてあるフォルダーを指定する。

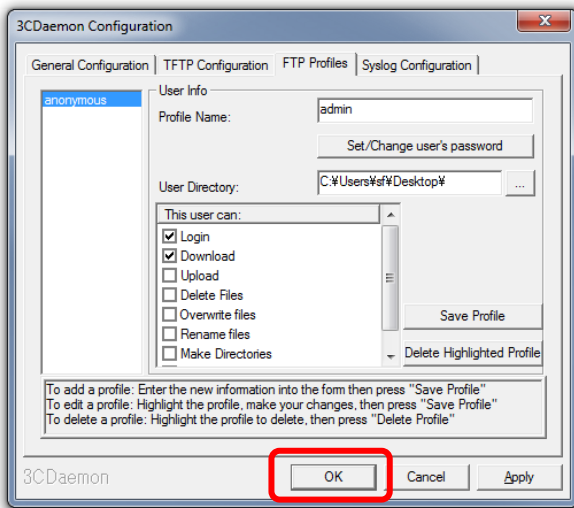


Profile Name: に “admin” を入力する。

Set/Change User's Password ボタンをクリックし、Password を “cisco123” にする。



OK ボタンをクリックして、設定を保存する

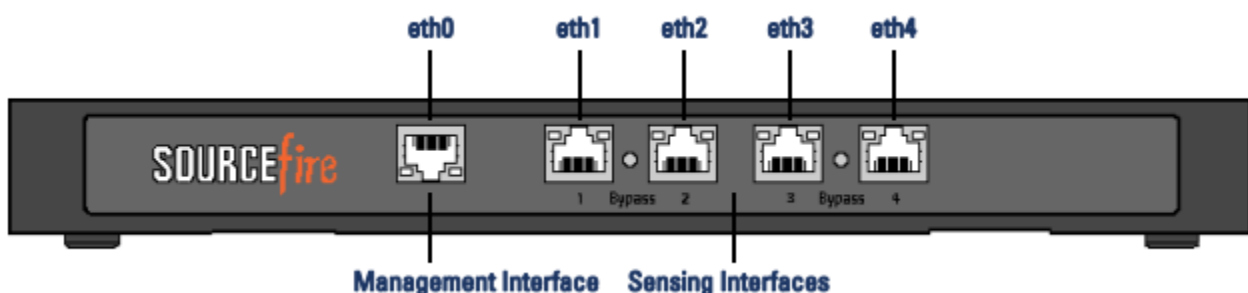


これで、FTP サーバーの設定は終了です。

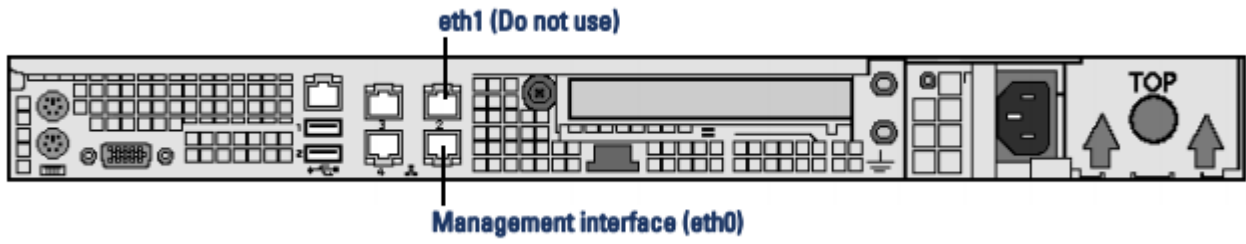
1-4 ケーブル結線

- FirePower(3D device) にモニターとキーボードを接続する。
- FirePower(3D device) に re-image 用の USB メモリーを挿す。
- FirePower(3D device) を通電させる。(電源ボタンはおしませんが)
- WindowsPC と FirePower(3D device) の Management interface を LAN ケーブル結線する。
※ 詳細は以下の図をご確認ください。

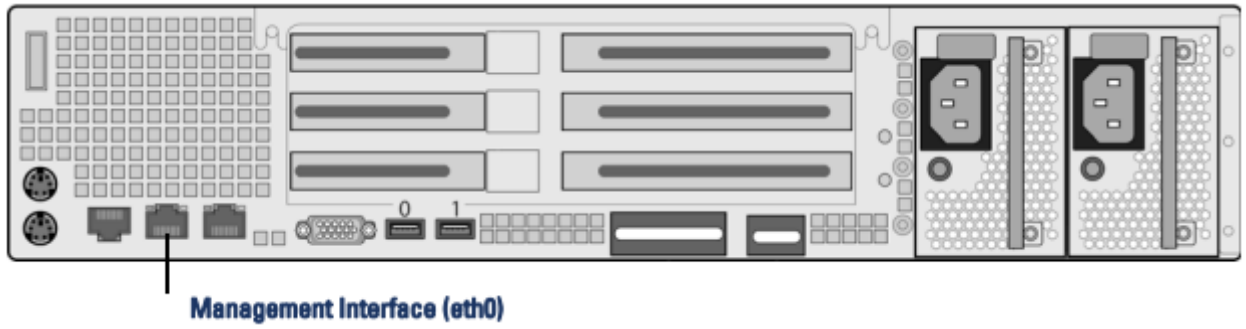
3D Sensor 500/1000/2000



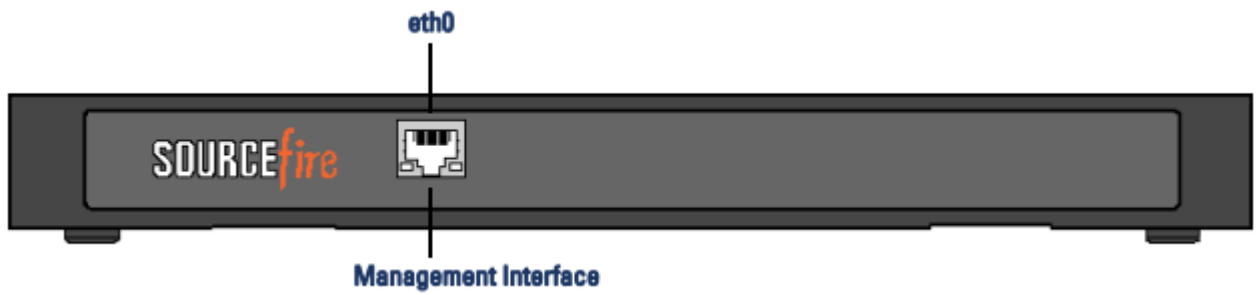
3D Sensor 2100/2500/3500/4500



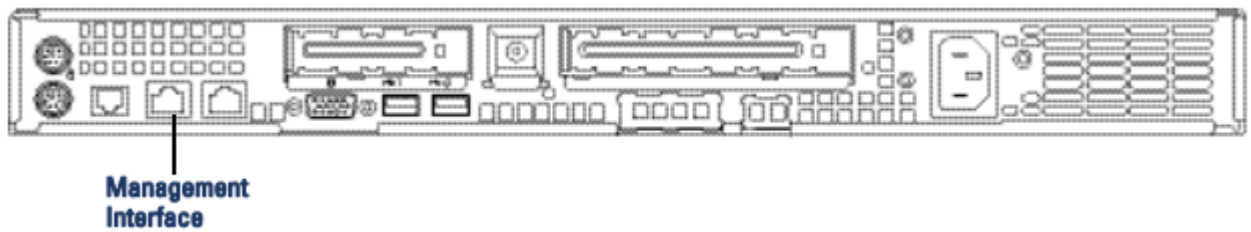
3D Sensor 6500/9900



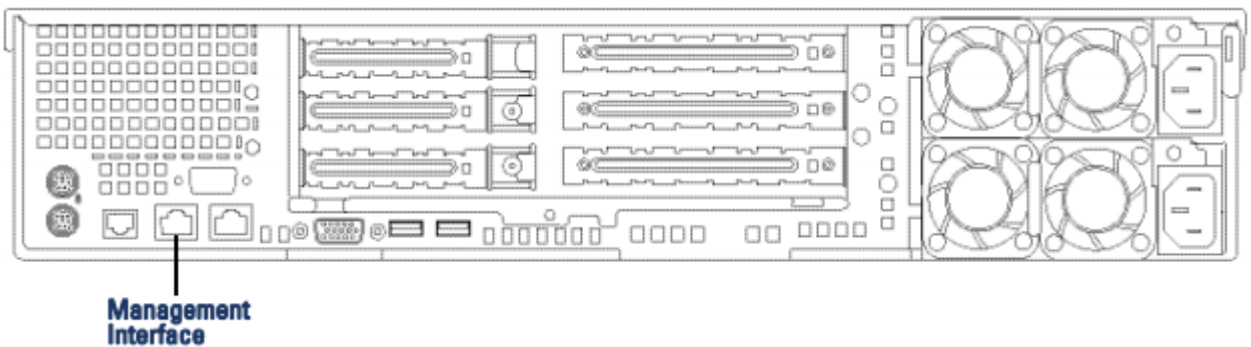
Defense Center 500



Defense Center 1000



Defense Center/Master Defense Center 3000



2. FirePower(3D Device) インストール

2-1 USB での起動

FirePower(3D device) は default で USB からの起動するように設定されております。

事前準備にて、起動用(re-image 用)の USB メモリーを挿している状態となりますので、電源ボタンにて電源を On すると、USB からの起動となります。

2-2 初期画面での操作

boot: が表示されたら、0 を選択。(5 秒くらいで、自動で 0 が選択されます。)

※ここで 1 を選択すると、表示が serial 経由になります。

```
SYSLINUX 3.70 2008-06-30 EBIOS Copyright (C) 1994-2008 H. Peter Anvin
Welcome to the Sourcefire Linux Operating System

0. Load with standard console
1. Load with serial console
2. Load legacy installer standard
3. Load legacy installer serial
boot: 0_
```

USB 内にある bzImage が読み込まれる。

```
SYSLINUX 3.70 2008-06-30 EBIOS Copyright (C) 1994-2008 H. Peter Anvin
Welcome to the Sourcefire Linux Operating System

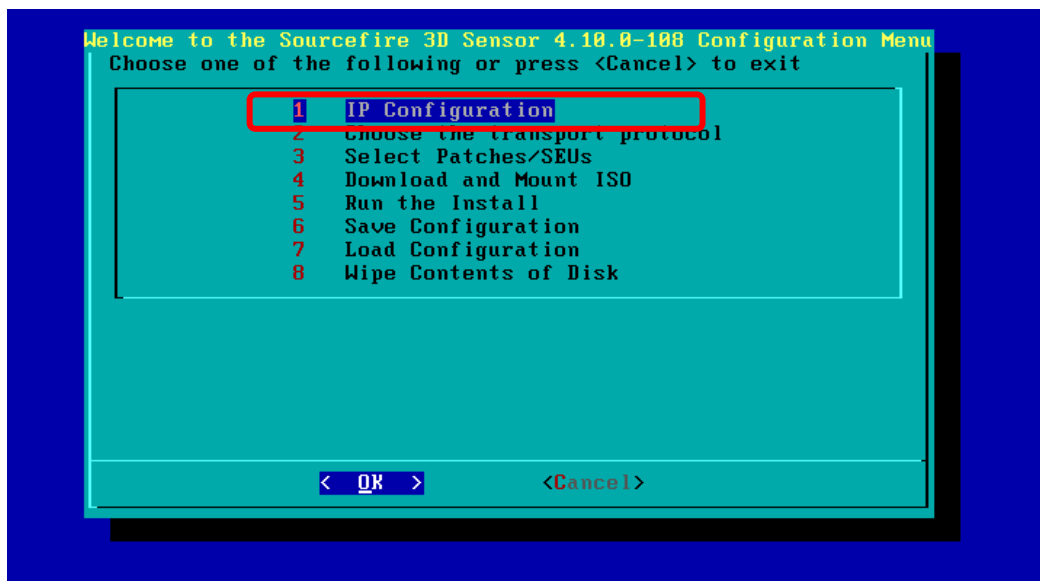
0. Load with standard console
1. Load with serial console
2. Load legacy installer standard
3. Load legacy installer serial
boot: 0
Loading bzImage26.....
Loading install.img.....
....._
```

Copyright 画面にて、Enter を押す。



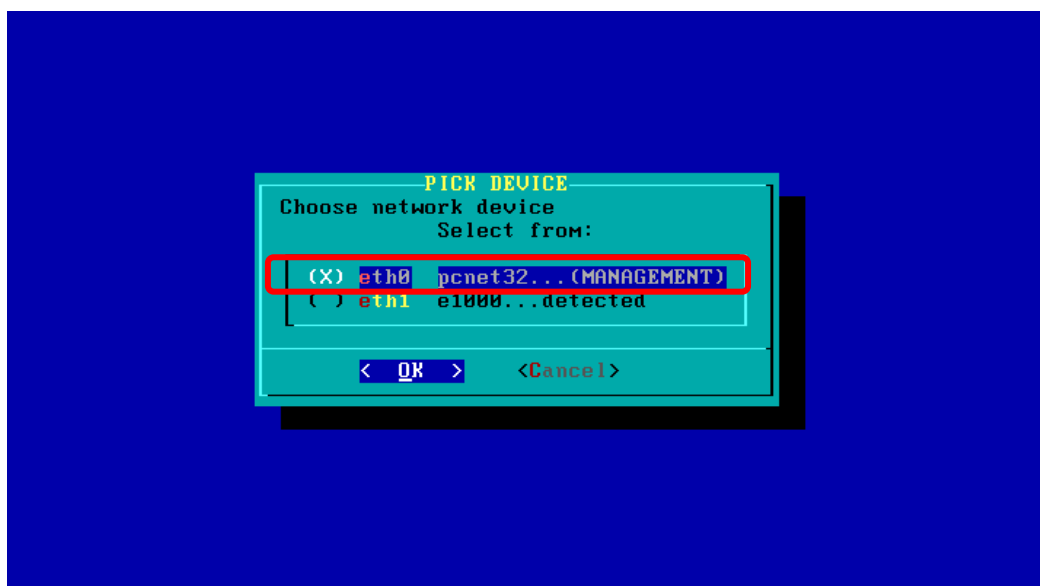
2-3 IP アドレスの設定

メニューリストが表示されたら、1 を選択して Enter を押す。

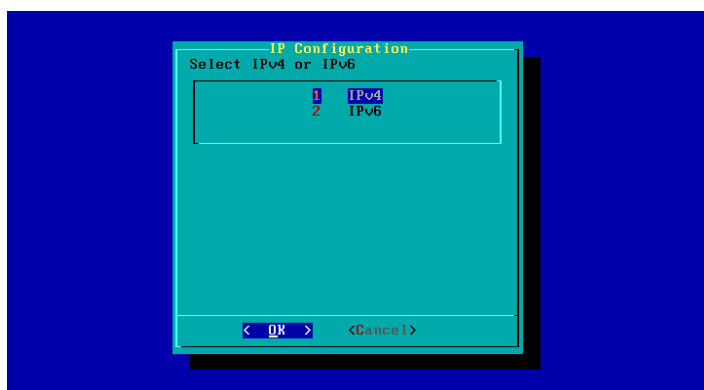


Management インタフェースを選択して、スペースを押してから Enter を押して確定します。

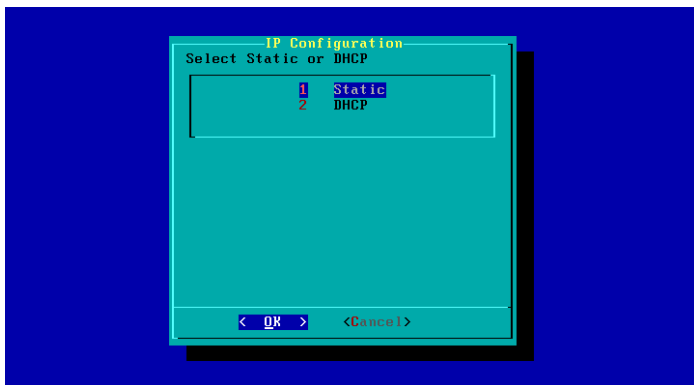
※スペースにて、() が (X) となるようにしてください。



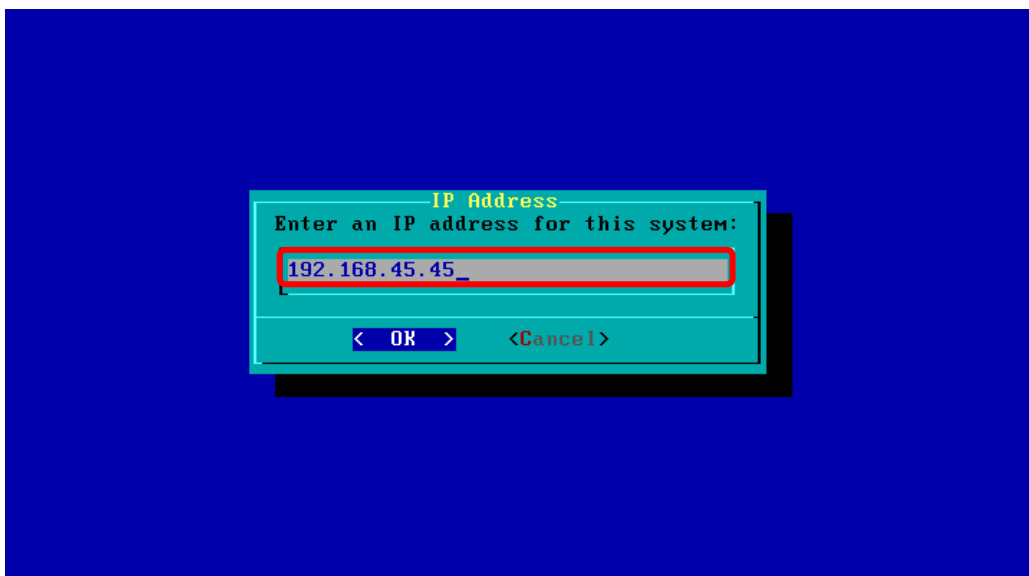
IPv4 を選択して Enter を押す。



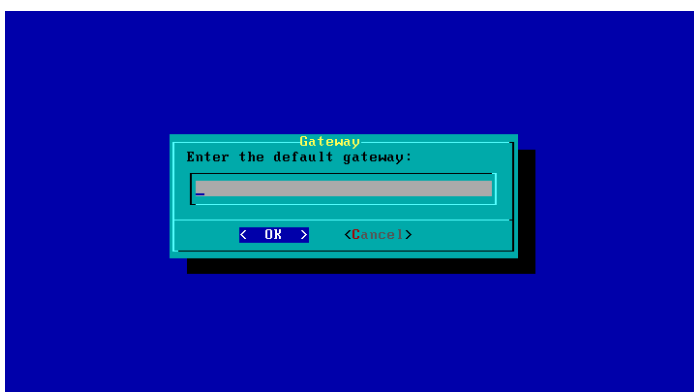
Static を選択して Enter を押す。



IP アドレス "192.168.45.45" と入力して Enter



Default gateway を空白のまま Enter を押します。

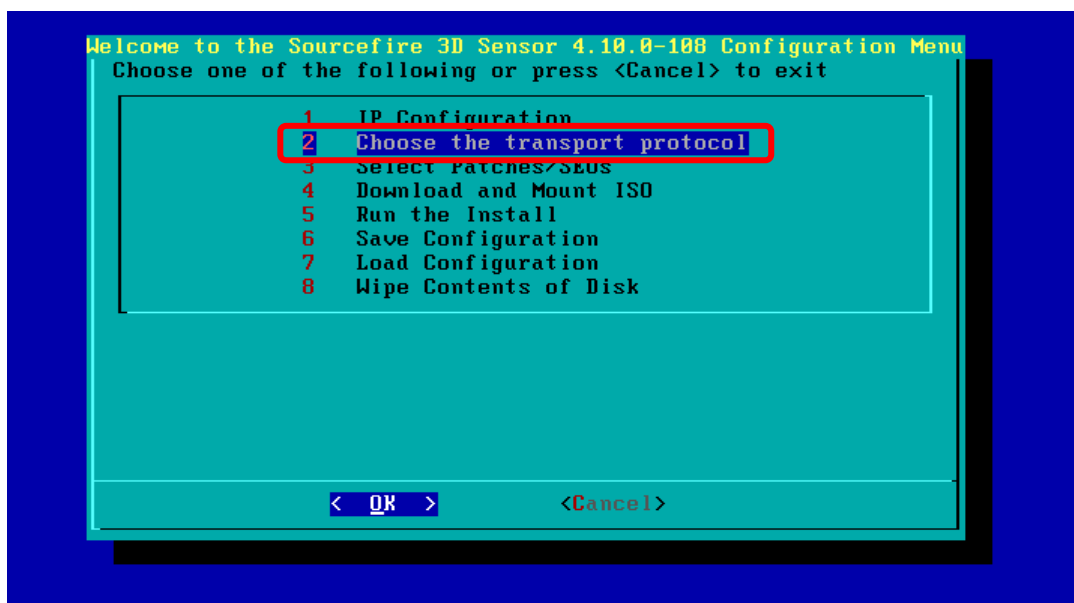


設定のサマリーが表示されるので、確認して Enter を押す。

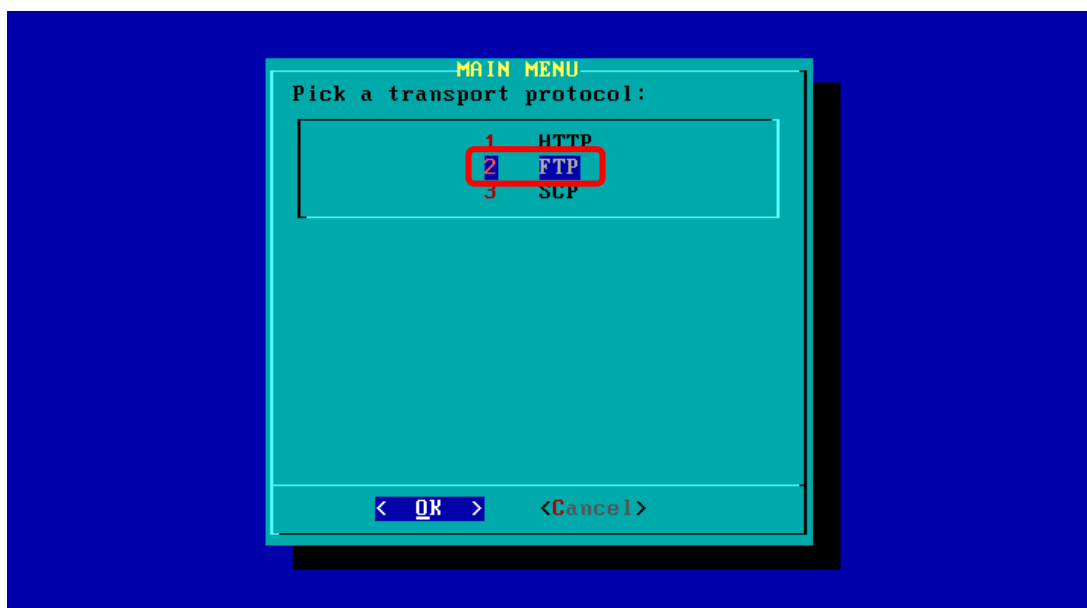


2-4 プロトコルの設定

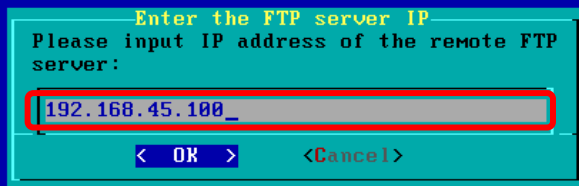
ISO のやり取りをするプロトコルを選択する為、2 を選択して Enter を押す。



2 の FTP を選択して Enter で確定する。

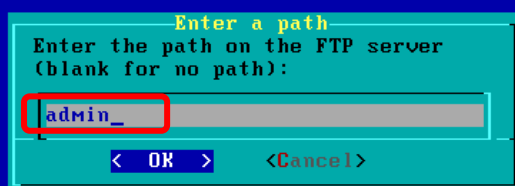


FTP サーバの IP アドレス “192.168.45.100” を入力して Enter を押す



```
Enter the FTP server IP
Please input IP address of the remote FTP
server:
192.168.45.100_
< OK > <Cancel>
```

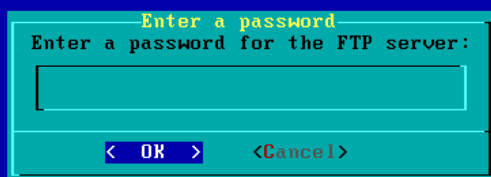
FTP にログインする為のユーザ名 “admin” を入力して Enter を押す。



```
Enter a path
Enter the path on the FTP server
(blank for no path):
admin_
< OK > <Cancel>
```

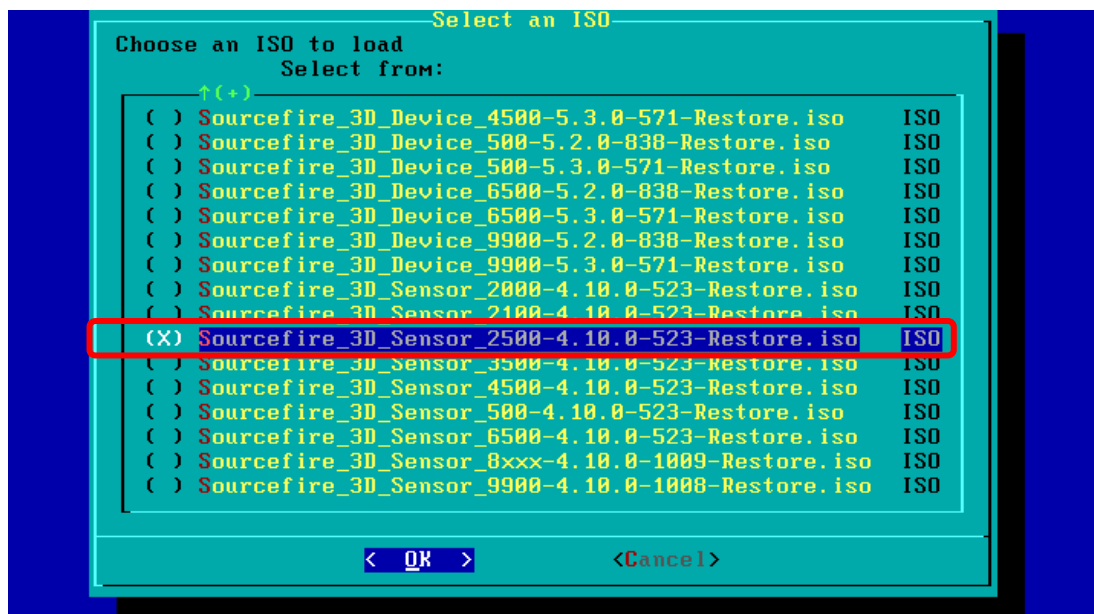
FTP にログインする為のパスワード “cisco123” を入力して Enter を押す。

※既存の設定が入っていても何も見えませんので、既存設定が分からないときには、右(→) をしばらく押し続けた後に、backspace をしばらく押し続けて既存の文字を消すようにしてください。

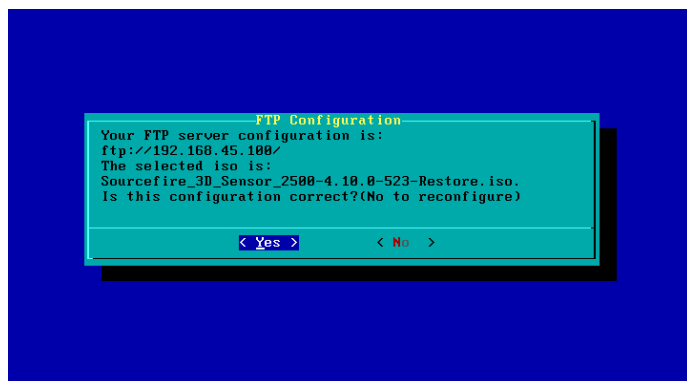


```
Enter a password
Enter a password for the FTP server:
< OK > <Cancel>
```

該当のイメージを選択して、スペースを押してから Enter を押して確定します。

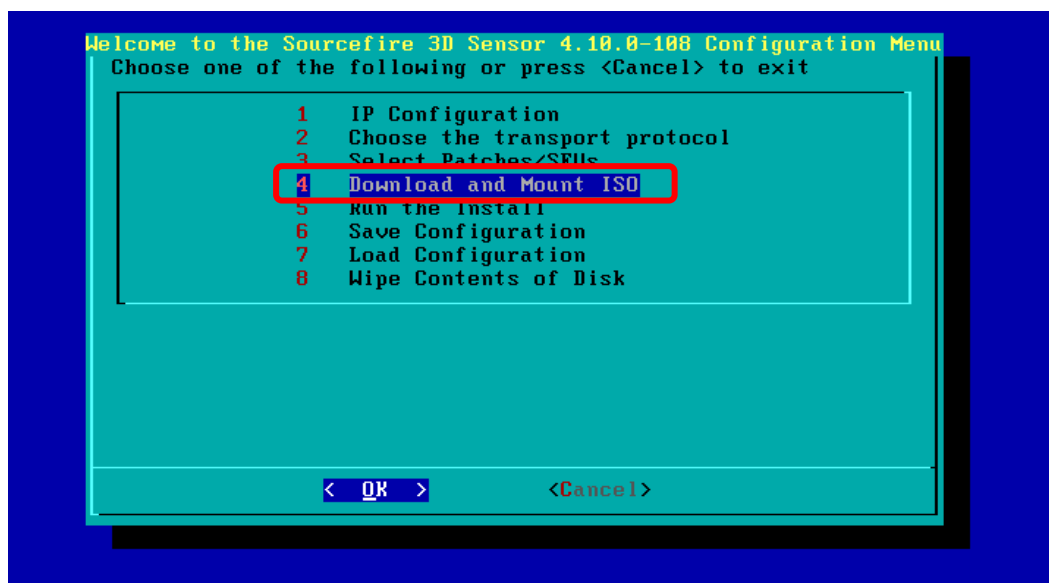


設定のサマリーが出ますので、確認して Enter を押してください。



2-5 イメージダウンロード

ISO イメージをダウンロードする為、4 を選択して Enter を押す。

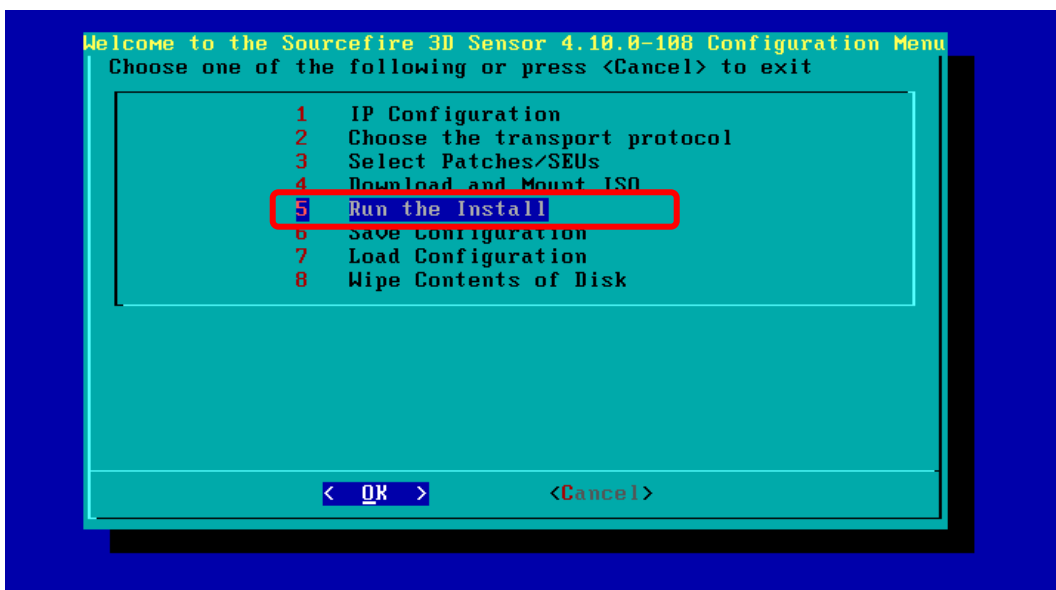


既存のデータが消える警告がでます。Enter を押して進む。



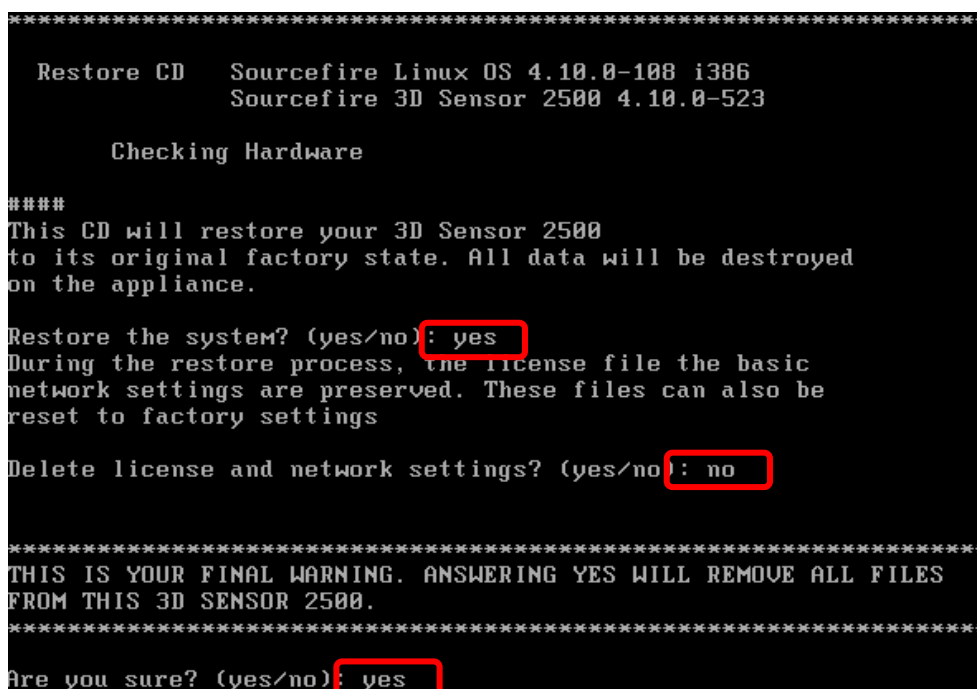
2-6 インストール

ダウンロードしたイメージをインストールする為、5 を選択して Enter を押す。



Resotre やライセンスの確認があるので、"yes"->"no"->"yes" を入力して Enter を押す。

※ここで違う画面が表示された場合には、**※1** をご確認ください。



インストール完了の画面がでたら Enter を押す。

※再起動が開始されたら USB device を抜いてください。



以上で re-image 作業は完了です。

※1

2-6 の手順にて黒い画面の内容が違い場合には、以下の画面になっていると考えられます。

※これは、実装上のものとなります。

Enter を押した後に再起動が走り今一度イメージをインストール必要があります。

画面が出た場合には、再度 2-2 と 2-5 と 2-6 の手順を再度実施してください。

※2-3 と 2-4 の設定については保存されている状態となるので、実施する必要はありません。

```
*****
Restore CD   Sourcefire Linux OS 4.10.0-108 i386
             Sourcefire 3D Sensor 2500 4.10.0-523

             Checking Hardware

#####
The USB device was successfully imaged. Reboot from the USB device to continue i
nstallation...
#####

#####
The system will restart after you press enter.
```

3. FireSight(Defence Center) インストール

FireSight(Defence Center) のインストール手順は、FirePower(3D device) と同様の手順となりますので FirePower(3D device) を FireSight(Defence Center) に置き換えてお読みください。